

(単元) バスケットボール

(本時のねらい)

バスケットボールは、パス・ドリブル・シュートなど個人技能を活かしながら集団技能を発揮し、一定時間内に得点を競い合う競技である。攻防の作戦を立て、その作戦をもとに練習したことがゲームで成功したときには大きな喜びを味わうことができる。

〇〇HRの生徒は活発であり運動量が豊富であるが、シュートの成功率が低く、ロースコアのゲームが多い。また基本的なディフェンスが理解できてないため、強引なプレーが見られることもあり、怪我や事故につながる危険も考えられる。

そこでICTを活用し、個人の課題やチームの課題を探り、それを克服するための練習を考え実践し、オフェンス・ディフェンスの基本を理解させ、より安全によりレベルの高いゲームを展開することで生涯にわたってバスケットボールに親しむ能力を身につけさせたいと思い、本単元を設定した。

(ICT活用方法)

再現性の高い競技・種目にフォーカスし、ICT機器を活用した。教師がタブレットで撮影し、50インチの大型テレビを体育館側面に設置し、課題ごとにすぐにフィードバックさせた。利点として正確な動きを理解することに役立ち、動きを修正できた。また動きを理解することで教え合いが生まれ、動きを修正できることで技術が向上し、興味・関心につながった。教師が撮影や視聴をコントロールすることにより、技術向上のための運動量の確保が可能になった。

(本時の展開)

時間	生徒の学習活動	指導上の留意点	ICT活用方法
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 整列・挨拶・出欠の確認 ・ 健康の観察 ・ 準備運動 (ラジオ体操) ・ 本時の学習内容の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出欠の確認, 体調を確認する。 ・ 元気よく声を出し, 丁寧にラジオ体操をさせる。 ・ 話を聞く姿勢を整えさせる。 	
展開 40分	<ul style="list-style-type: none"> ● 基礎練習 【セットシュート】 ① フォーム (投げ方) ② フリースロー ③ 対面シュート ・ 6チームにわかれ, 効率よくシュート練習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ミート, シュートを正確に行わせる。セットシュートで決めることができる生徒には, ジャンプシュートとワンハンドシュートで打たせる。 ・ 1グループの動画を撮り, フィードバックしてより正確なフォームを身につけさせる。 	タブレットPC テレビ

	<p>●基礎練習 【ディフェンス】</p> <p>・4チームにわかれ，効率よくディフェンス練習をする。</p> <p>●簡易ゲーム（3～5分） 6人4チーム</p>	<p>・マンツーマンディフェンスを理解させ，ボールに対する構え，ポジションを確認させる。</p> <p>・1グループの動画を撮影し，フィードバックしてより正確なディフェンスを身につけさせる。</p> <p>・ハーフコートまでドリブル有り無しの簡易ルールでゲームをさせる。</p> <p>・マンツーマンディフェンスを意識させる。</p>	<p>タブレットPC テレビ</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>・整理運動 ・まとめ ・怪我の有無 ・次回予告</p>	<p>・何人かの生徒に実際に自分たちの映像を見てどのように感じたかを発表させる。</p> <p>・本時で得た新しい技術を基に，次回の授業に生かせる。</p> <p>・怪我の有無・体調の確認を行う。</p>	<p>タブレットPC テレビ</p>

(授業の様子)

ICT活用	使用したワークシート
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div> <p>体育館側面にICT機器を設置し，種目ごとにフィードバックさせ，意見交換させる。</p>	<p>・別紙参照</p> <p>本時の授業内容を種目別に自己評価を書かせ，授業の最後に発表させる。</p>

(生徒の反応と課題，改善を要する点)

今回のバスケットボールの授業は，再現性の高いシュートフォームやディフェンスの基礎動作にフォーカスし，授業展開をした。ICTを活用することにより，生徒が練習やゲームの様子を俯瞰的に動画で見ることができ，ねらいを意識して振り返る様子や意見交換する場面が見られた。また，タブレット端末の撮影データを画面で即座に確認し，利用する

ことができるという特徴を生かした。動きのポイントを言葉や身振り手振りで相手に説明をすることに加えて、動画を見ながら実際の動きを振り返ることにつながり、技能の知識を深め、その向上を図ることにつながったと考えられる。また、問題解決場面での活用が、動きと空間を含めて撮影された動画から活動の様子を振り返ることにつながり、思考・判断を促すことにつながると考えられる。また次回への課題も確認することができた。しかし、評価場面での活用は見られなかった。

活用上の課題としては、タブレット端末を屋内で使用する際には、機械の性能面を考慮し、設置場所や光の加減、撮影場所を考えることと授業の妨げとならないようにしなければならない。また使用方法や管理方法について、校内で運用方法等を定めるなどの対策が必要であると考えられる。活用の仕方次第では生徒がタブレット端末の必要性を感じられず、運動時間の減少を招くこともあり、授業や単元の中でタブレット端末を活用するタイミングや時間を明確にしておくことが大切であると考えられる。

(ワークシート)

バスケットボール 学習カード

HRNO () 氏名 ()

本日の課題

- セットシュート【動画撮影】
- マンツーマンディフェンス【動画撮影】

練習方法

- セットシュート
- 対面シュート
- マンツーマンディフェンス

自己評価